

新しい資産運用の形「外国為替取引」 I Tを用いて健全な投資環境を整備

月刊誌「国際グラフ」の「人と企業」に紹介されました。

清水 章吾 様(俳優)



株式会社新日本通商
代表取締役社長 遠藤 昭二

株式会社 新日本通商

<http://www.njt-fx.jp>

[http://www.njt-fx.jp/m\(モバイル\)](http://www.njt-fx.jp/m(モバイル))

〒260-0013

千葉県千葉市中央区中央1-11-1 千葉中央ツインビル1号館

TEL : 043-202-5100 FAX : 043-202-5160 mail : info@njt-fx.jp

金融先物取引業登録番号：関東財務局長（金先）第128号

金融先物取引業協会 会員番号：1544

■(株)新日本通商

千葉県千葉市中央区中央1-11-1

千葉中央ツインビル一号館

TEL 043-202-5100 FAX 043-202-5160

<http://www.njt-fx.jp>

<http://www.njt-fx.jp/m> (モバイル)

対談 代表取締役社長 遠藤 昭二

ゲスト 清水 章吾 (俳優)



新しい資産運用の形「外国為替取引」 ITを用いて健全な投資環境を整備

清水 早速ですが、(株)新日本通商さんの沿革についてお聞かせ下さい。

遠藤 当社はコンピュータのソフトウェア開発やインターネットのアプリケーションサービスプロバイダーとして様々な企業と取引をすると同時に、人材派遣業や通信販売などにも携わってまいりましたが、蓄積したITのノウハウを生かして多角的な事業展開を図ろうとする社の方針から一昨年より外国為替保証金取引を扱うことになりました。そもそもこの取引が日本に導入されたのは約5年前ですが、当初は規模の大小を問わず様々な企業が参入して活気づいたのは良かったものの、モラル面を中心に顧客とのトラブルが相次ぐなどダークなイメージが浸透して業界全体がマスコミから批判を受けたことは清水さんもお存じかと思います。しかし金融庁が動き出したことで状況は一変しました。営業が登録制に変更されてカテゴリーでは銀行や証券会社と同等になり、それに伴って半数以上の会社が淘汰され現在では信頼性の高い会社しか残ってないという状況です。

清水 つまり御社も金融庁のお墨付きをもらった健全な会社であるわけですね。いわゆる2007年問題などが取り沙汰される中で資産運用に対する人々の関心はこれまでになく高まっている印象を受けます。そこでこの機会におさらいしておきたいのですが、外国為替保証金取引について漠然とした知識しかない私にも理解できるように詳しく説明してもらえないでしょうか。

遠藤 もちろんです。外国為替保証金取引は決められた保証金を預託し、外国為替市場でその10倍から200倍の外貨を取引するシステムのことです。外貨の「買い」「売り」のいずれも可能で決済期限がないため、短期の運用にも長期の運用にも適応するという利点が挙げられます。

清水 つまり10万円の保証金を預託すれば100万円の取引を行うことができると。

遠藤 はい。ただし為替相場の変動でリスクが発生することもあらかじめ知って頂きたいと思います。相場がお客様に有利に動いている時はよいのですが、逆になると保証金もなくなってしまうからです。

清水 資産運用をする以上、リスクも自己責任で負わなければならない部分はどうしてもありますよね。しかし社長のお話を聞いていますと、外国為替保証金取引は株式よりもオープンな印象を受けます。

遠藤 株式は機関投資家の動き一つで乱高下したり、会社の代表者が入れ替わると事業の見通しがおかしくなって市場に影響が出たりと人的リスクが常につきまといます。ライブドア事件で同社の株は紙くず同然になったのは記憶に新しいところですが、外国為替保証金取引の場合は株式のように作為的な変動が起きることはまずありません。従ってインサイダー取引も存在せず、また、円やドルを買い占めるといったことも不可能です。それだけに株式に比べて健全な市場であると言えるのではないのでしょうか。

健全でリスクの少ない取引

清水 現在アメリカ経済は活況を呈してドルが強いとニュースなどでもよく聞きますが、保証金をいくらか預託してドルを買い、それが上がった時点で「売り」に出れば儲けが生まれるわけですね。

遠藤 世界の経済ニュースを中心によく勉強して頂ければ理解度も増します。それを基にどのあたりで外貨を買えばよいのか、どのタイミングで売れば儲かるかを判断できれば堅実な運用が可能だと思います。

清水 一か八かの勝負的要素はほとんどなく、自分で学んで判断しながら取引するところに外国為替保証金取引の健全性と信頼性を感じますね。昨今は個人投資家が増えています、そのほとんどは関心があるだけで「買い」や「売り」のタイミングを自分で判断するのは困難だと思います。投資や経済にさほど詳しくなくても取引したい場合はどんな手順を踏めばよいのでしょうか。

遠藤 当社がサポートさせて頂きたいのはまさにそういったビギナーのお客様でして、ITを駆使しながら皆様に利回りの高い環境を提供できるよう、まずはソフトウェア開発に取り組みました。

清水 もともとそちらの分野は得意だけに、初心者でも理解しやすい優れたソフトができたわけではありませんか。



決められた保証金を預託し、その額の10～100倍の額面の外貨取引ができる外国為替保証金取引。新しい資産運用の形として個人投資家レベルでも関心を寄せる人が増えているが、(株)新日本通商ではITを組み合わせることで個人投資家に公正で透明性の高い資産運用を提案している。過去の膨大な為替変動の背景をデータベース化しネット上で開示する一方、システムについては自社のインターフェイスを積極的に公開する斬新なサービスが個人に支持されるか、今後の動向に注目したい。



遠藤 市場における過去の膨大なデータをすべて解析した上でどういう規則性があるかを探り、その動向と結果をパートナー会社と共同でデータベース化しました。外国為替市場は東京、ロンドン、ニューヨークと24時間休みなしで稼働していますが、それをずっと監視し続けるのは体力面から考えても無理です。その部分を今申し上げたソフトをインストールしたコンピュータで補いながらタイムリーに利食いや損切りができれば、利回りの環境はビギナーでも十分に整えられるでしょうし、掛け金や売買のアクションも自動設定で起こせますので効率良く取引して頂けるでしょう。また、例えばテロが起きて通貨がぶれるような場合でもリスクはどこか、チャンスはどこかをコンピュータで監視しながらお客様の判断をサポートできます。ちなみに当社システムについてはインターフェイスを公開し、企業としての透明性を高めています。

清水 信頼して資産運用を委ねられる会社であることはよく分かりました。御社では何種類の通貨を扱っておられるのですか。

遠藤 ユーロ、ポンド、ドルなど主要7カ国の通貨の他、ニュージーランドドル、オーストラリアドルも扱っています。

清水 韓国や中国を旅すると大きなパワーを感じ、ひいてはそれが経済状況や資産運用面にも反映されているのではと思うことがあります。それに比べると日本人は特殊な国民性からか、投資への関心は以前に比べ高まったとはいえ何か消極的ですよ。

遠藤 預金と投資の割合を比較しますと他国は2対8で投資が上回っているのに対し、日本だけその逆をいっています。しかし今後は生涯の労働可能な期間が徐々に短縮して一生に獲得できる賃金も低下すると予測されていますので、そのような悪条件の中で裕福な人生を送るには資産運用を真剣に考えなければならないでしょう。つまりお客様の損失をいかに抑えながらどうリターンするかが最大のテーマであり、ITとリンクしたサービスの提供でそれを実現していきたいと考えています。様々な投資商品がありますが、今最も勢いがあるのは外国為替保証金取引で、アメリカでは株式の100

～200倍の実績を上げたとの報告もなされているのですよ。

清水 (株)新日本通商さんとしては今後もいろんな方にこの取引を提案していけるわけですが、戦略的にはどうお考えですか。

遠藤 企業秘密なのであまり明確には言えませんが、人が今まで考えてもみなかったような斬新なアイデアを次々と世に送り出していくつもりです。いずれにしても皆さんから注目される会社になりたいですし、他社より1歩進んだ取り組みを行っていければと考えています。

ビジネスモデル提示で成長

清水 では、少し視点を変えて社員の皆様に望まれること、あるいは経営者の立場からの思いなどがあればお聞かせ下さい。

遠藤 勝ち組・負け組という言葉がもてはやされていますが、そういう格差を生むビジネス構造は良くないと考えています。少なくとも当社を利用して下さった方すべてに儲けが出るような運営方法で事業を進め

ていくべきであるというのが私の理念です。そしてそういうビジネスモデルをつくり、社員にはそこに向かって努力すれば必ず成果が出るような社内環境を整備することも社長としての役割でしょう。

清水 社員と目標を共有されるんですね。

遠藤 会社の成長イコール社員の成長になれば嬉しいですね。日本の歴史と文化の賜物である譲り合いの精神を発揮しながら社員と共に進んでいきたいと考えています。

清水 最後に将来のビジョンをひと言。

遠藤 私は将棋が趣味ということから常に次の一手を考えながら行動しますが、分岐点の選択によって結果に変化が出ることはビジネスからも将棋からも学んできました。当社が蓄積してきたITの技術を皆様の資産運用に最大限役立て、明日のため、来年のため、未来のために方向性を見誤らず信念を持って仕事に臨み、会社の未来を開拓していきたいと考えています。

清水 確実なビジネスモデルを示し、顧客と社員のために今後もご活躍下さい。

外為Online

「外為オンライン」は、日々変動する為替変動による利益(為替差益)を狙う外貨投資です。通常の為替取引では、1ドルあたり110円程度の為替が相場ですが、「外為オンライン」はその1/50～1/200以下の為替を担保金とすることで、通常の為替取引と同等の取引を行うことができます。まずは、外為為替保証金取引の内容と利益の仕組みをしっかりと理解ください。リスクとリターンを相関関係を把握してください。そして、外為為替保証金取引の仕組みを把握してください。

お客様が外為為替保証金取引を始めるにあたって、当社は万全のサポート体制をご用意しております。ぜひ、貴社の資産運用に「外為オンライン」をご活用ください。

為替差益追求

2004年10月に1\$=110円で1万円購入し、2005年7月に1\$=115円で決済した場合、5万円の為替差益が得られます。

※注：相場変動による為替差益は損失となります。

金利目的

外為オンラインは約1,000円の保証金で約200倍～300倍の外貨を運用できるという大変高金利の投資商品です。取引期間中、運用外貨金額に対してスワップ金利が発生します。また、大量利益の90%以上も利益となります。スワップ金利は決済までお預けいただけます。毎月、お客様の銀行口座に送金させていただきます。

※外為オンラインの場合はスワップ金利を支払う必要はありません。

なぜ、今、外国為替保証金取引が注目を集めているのか。

優れた資金効率

外国為替保証金取引は、保証金100円に、その保証金の100倍の大きな金額を売買できる。たいへん資金の効率的な取引が可能です。

手数料は無料

全ての通貨ペアの取引手数料は0円です。手数料を気にすることなく取引を行うことができます。

円高・円安どちらでも利益の追求可能

円高(円買い)・円安(円売り)どちらの取引でも可能です。円高相場でも利益を追求することができます。

スワップ金利の発生

外貨と円高の金利差が生じるため、為替レートの変化とは関係なくスワップポイントが付き、この差が、お客様の口座に毎月振り込まれていきます。

お取引期間は自由

ローオーバー(円高)・ハイオーバー(円安)のいずれかで取引が可能です。お客様の都合に合わせて自由に決めることができます。

24時間お取引が可能

パソコンや携帯電話から24時間お取引が可能です。お好きなタイミングで取引ができます。リアルタイムで取引できます。

お客様の喜びが、私共の喜びです。

お客様のニーズにフレキシブルに対応します。

お客様との信頼関係を第一に。